

2016年11月30日

ヨコハマタイヤ・フィリピンが設立 20 周年記念式典を開催

横浜ゴム（株）の乗用車用タイヤ生産販売子会社であるヨコハマタイヤ・フィリピン（YTPI）は2016年11月26日、同社が立地するクラーク特別経済区内のクエストホテルで設立20周年記念式典を開催した。当日は特別経済区を運営するクラーク開発公社のノエル・マナンキル長官・最高責任者および開発公社関係者、関係官公庁、取引先のほか、横浜ゴムの南雲忠信代表取締役会長、YTPI 従業員などおよそ230名が出席した。なお現在、YTPI は生産能力の増強を進めており、記念式典開催の前に工場内において新工場（西工場）の開所式を開催した。

記念式典ではYTPIの20年の歩みをビデオで紹介したほか、勤続20年の従業員の表彰や地元の福祉関係団体への車椅子（約100台）の贈呈などを行った。挨拶に立った南雲忠信会長は「YTPIは横浜ゴムが自社で設計・運営した初めての海外工場です。以来、横浜ゴムの戦略的かつ重要な子会社であり続けており、高性能・高品質なヨコハマタイヤを世界中に提供するうえで欠かせない拠点となっています。さらに本日開所式を実施した新工場（西工場）の完成により、YTPIは横浜ゴムの中で2番目の生産規模を誇る拠点となります。今後も安全で信頼できる商品開発に邁進するとともに、フィリピン経済の発展や環境保護、コミュニティの福祉・サービスの向上に貢献していきたいと思っています」と述べた。

YTPIは1996年4月に輸出向け乗用車用タイヤの生産拠点として設立し、1998年から年間120万本で生産を開始した。以来、継続的な生産能力の増強を進め、年間生産能力は2006年に700万本、2014年に1,000万本、現在は1,190万本に達している。今回の西工場の完成により2017年は1,250万本を計画している。乗用車用およびSUV用タイヤを生産し、その大半を欧州、北米、ASEAN諸国に市販用タイヤとして輸出しているほか、北米、アジア諸国の自動車メーカーに新車装着用タイヤとして納入している。



挨拶する南雲忠信代表取締役会長



祝辞を述べるクラーク開発公社の
ノエル・マナンキル長官・最高責任者

<ヨコハマタイヤ・フィリピンの概要>

社名：Yokohama Tire Philippines, Inc.

設立：1996年4月

取締役社長：黒川泰弘

本社・工場所在地：クラーク特別経済区

敷地面積：452,019m²

事業内容：乗用車用ラジアルタイヤの生産・販売

年間生産能力：1,190万本

従業員数：2,326名（2015年12月末）

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：田中
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570